

国保

鹿児島県国保連合会

かごしま

特集

トップインタビュー
奄美市長 朝山 毅

住民の幸福度向上「しあわせの島」を目指す

KOKUHO
KAGOSHIMA

2018

11
No.609



市町村の取り組み

地域包括ケアシステムの取り組み(奄美市)

「つながりの輪」を広げ地域全体で助け合う
支えあいのまちづくり

よくわかる糖尿病

鹿児島県糖尿病対策推進会議の役割

鹿児島大学大学院糖尿病・内分泌内科学助教(診療講師)

出口 尚寿

奄美市長

朝山毅

住民の幸福度向上 「しあわせの島」を 目指す

市民と「共に語り、共に考え、共に行動する」ことを心掛けている奄美市は、どのような健康づくりに取り組んでおられるのだろうか。朝山毅市長に、健康に暮らせるまちづくりへのビジョンや、「自身の健康法等について、お話を伺った。



健康で長寿を謳歌する まちづくり

奄美市における健康に暮らせるまちづくりへのビジョンについてお聞かせください。

本市では住民の幸福度向上を目指した「しあわせの島」を市の将来ビジョンとして掲げており、これを具現化するための市総合計画では「健康で長寿を謳歌するまちづくり」を目標の一つとしています。

少子高齢化が進展する中、本市においても結婚、妊娠、出産、子育てに関する課題に対し、包括的な少子化対策を推進するとともに、子どもからお年寄りまで、また障がいのある方など全ての市民が健康で安心して暮らすことができる環境づくりを行っています。

市民の健康づくりに関しては「健康づくりはみんなが主役（でい、まーじんま ゆいの心）

地域の支え合い 体制づくり

力を入れておられる取組や、特色のある取組についてお聞かせください。

本市では福祉の視点から「地域の支え合い体制づくり」事業に積

これらの施策を一体的に推進

し、市民主体の健康づくりをとした「しあわせの島」の実現を目指します。

血管疾患及びがんの発症予防と死亡者の減少を重点目標とし、また国民健康保険事業においても、特に脳血管疾患及び糖尿病性腎症重病化予防を図るため、糖尿病、高血圧、メタボリックシンドローム等の減少につながる各種保健事業に取り組んでいくこととしています。

なかでも青壮年期においては脳血管疾患及びがんの発症予防と死亡者の減少を重点目標とし、また国民健康保険事業においても、特に脳血管疾患及び糖尿病性腎症重病化予防を図るため、糖尿病、高血圧、メタボリックシンドローム等の減少につながる各種保健事業に取り組んでいくこととしています。

極的に取組んでおります。この事業は地域の互助活動を再構築しようとする取組みで、地域の生活課題の把握から解決に向けた企画・実行・評価まで、市民の皆さんと協働し、地域づくりを行っていくものであります。

平成28年度から取り組んでいる本事業においては、各地区において着実に成果を上げつつあり、市民の皆さまの底力と「結」の精神を感じているところです。

また、本市は長寿者の割合が高い反面、早世の割合も低くなっています(平成27年調査では男性の平均

寿命は全国で18番目に低い)。これを改善するために生活習慣病の予防等の取組みを強化しており、特定健診の受診率もまだ国・県の平均に比べ低い状況ではありますが、毎年度受診率が向上してきているところです。

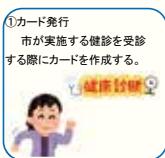
健康づくりのポイントを貯めて 「ほーらしゃ券」と交換

平成30年度からは新たに、健康づくりの機運を高めるためのポイント事業もスタートさせました。健診等の参加に対してポイントを付与し、地域商品券「ほーらしゃ券」と交換できるという事業となつております。

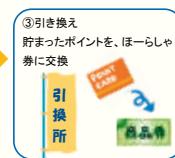
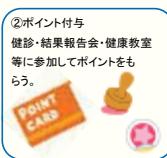
～みんなの健康づくりをお手伝い～

『健康づくりポイント事業』

市の健診や健康教室等に参加することでポイントがもらえ、貯まったポイントがみなご存知の『ほーらしゃ券』と交換できます!! 健康づくりに取り組むことで体も元気になります、ごほうびもゲットできる! これを機に、ご自分の健康に目を向けてみませんか?



対象：40才以上の市民
方法：健診会場等でカードを受け取り、健診・教室等に参加してポイントを貯めます。
1ポイント100円で、引き換えは12月頃を予定しています。



医療費の適正化と安定的な財政の運営が課題

国保における問題点と課題についてお聞かせください。

以前から全国の市町村国保について、さまざまな構造的課題が指摘されておりました(年齢構成が高く医療費水準も高い、また所得水準が低

く保険税負担が重い、法定外繰入や繰上充用などの厳しい財政運営となつてている等)。都道府県が財政運営の責任主体となつたことにより、財政の安定化が図られるものと期待しております。

都道府県化と併せて国の公費負担の拡充措置が行われましたが、国保の財政基盤がより安定するためにも引き続き国の財政支援については継続して頂きたいと思つております。

また、本市でも近年加入者数の減少や、高齢者割合の増加による一人当たり医療費が増加しており、生活習慣病の重症化予防等、医療費の適正化に取り組み、安定的な財政運営に努めていくことが課題と思っております。

顔の見える関係性を築く

の一つとして、奄美市が推進している地域包括ケアについて、またその構築に向けた取組みなどをお聞かせください。

地域包括ケアシステムの構築は、

国・県・同規模平均と比べてみた奄美市の位置

項目	保険者		県	同規模比較	国
	実数	割合(%)			
① 人口構成	総人口	46,010	1,691,041	34,457	124,852,975
	65歳以上(高齢化率)	11,901	25.90	29.10	23.20
	75歳以上	6,763	14.70	14.90	15.90
	65~74歳	5,107	11.10	11.70	13.20
	40~64歳	16,334	35.50	33.80	34.10
② 産業構成	39歳以下	17,760	38.60	39.60	42.80
	第1次産業		4.20	10.40	4.20
	第2次産業		14.50	19.60	25.20
	第3次産業		81.30	70.00	70.60
	男性		77.50	79.20	79.60
③ 平均寿命	女性		86.10	86.30	86.40
	男性		63.70	64.80	65.10
	女性		66.50	66.60	66.80
	標準死亡率(SMR)		110.20	102.10	100.00
	男性		94.20	99.40	101.50
④ 健康寿命	女性		45.80	46.20	49.60
	死因	173	25.40	26.20	26.50
	がん	96	76	20.10	17.00
	心臓病	76	6	1.60	1.90
	脳疾患	17	17	4.50	3.70
① 死亡の状況(平成27年)	糖尿病	10	10	3.00	3.30
	腎不全		2.60	2.70	3.30
	自殺		13.46	10.41	11.05
	合計	84	9.46	7.09	7.38
	男性	59	25	4.01	3.32
② 早世予防からみた死亡(65歳未満)	女性				3.66

本市の目指す姿「しあわせの島」の実現に向けた取組みそのものだと考えております。子どもから高齢者まで、市民一人一人が自分の役割を理解し、課題解決や目標達成のために皆が協働して幸福度の高いしあわせの島の実現に向け取り組んでいくことを、今後とも加速させていきたいと考えております。

結の島である奄美は、顔の見える関係性が築きやすいと考えますので、市民の皆さんと一緒に考え、企画し、協働する体制を継続していくことが地域包括ケアシステムの構築としあわせの島の実現に繋がっていくと考えております。

語らうことが私の健康法

——市長ご自身の健康について、普段から心がけていらっしゃることがありますならお聞かせください。

日常習慣的にやっている運動は特にありませんが、運動と言えるのは、趣味のゴルフを月に1回程度、仲間とラウンドしていることです。

健康への心がけと言えるかどうかは分かりませんが、日頃から市民や職員の皆さんと語らうことが好きで、懇親会等には積極的に参加しています。

多くの皆さんと市政をはじめさまざまなお事について意見交換し、コ

ミュニケーションを図ることで、自身の気力の充実、職務に対するエネルギーを養っているところです。

いざ世界自然遺産登録へ

——最後に何か奄美市のPRがございましたらお聞かせください。

南北約600km、東西約300kmの広大な圏域を有する鹿児島県のうち、その約7割を本土以南の南西諸島圏域で占めています。

この海域(圏域)では、世界最大の海流と言われる黒潮が流れれる中に、世界一美しいと称されるロケット発射基地のある種子島や、世界自然遺産の島・屋久島、日本最後の秘境といわれるトカラ列島、そして日本唯一の環境文化型国立公園を有する我が奄美群島など、特色溢れる島々が点在しています。

この豊かな自然と共に生する中で育まれてきた暮らし・伝統・文化は、奄美の独自性をさらに際立たせ、多くの来訪者をおもてなししています。

ぜひ、「鹿児島県本土とは違った一面を持つ鹿児島県」奄美群島・奄美市へお越しいただき、まだ知らない鹿児島県の広く深い魅力をさらに感じていたら、だきたいと存じます。



新緑の山林



オオトラツグミ



リュウキュウアカショウビン

樹上のアカマタ(マッタブ)